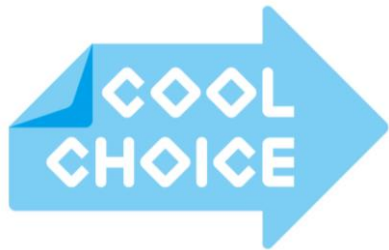


# 可燃指定ごみ袋30Lサイズ20枚を配布します

## 可燃ごみを減らして家計の節約をしましょう 指定ごみ袋サイズダウンにチャレンジ

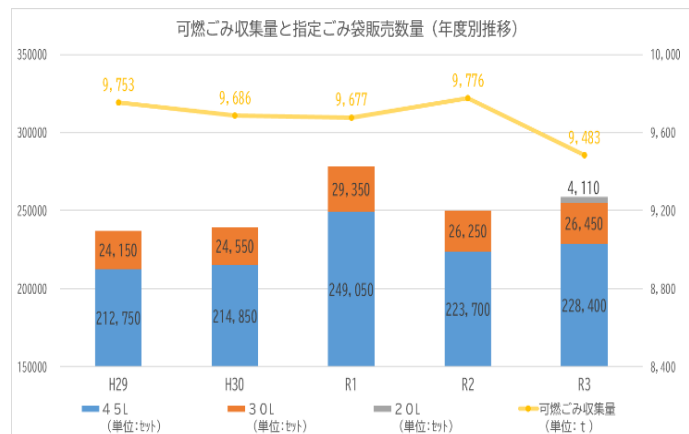


未来の  
ために、  
いま選ぼう。



この事業は、国の新型コロナ  
経済対策事業を活用し、市民  
の皆さんの生活支援の一環と  
して実施するものです

小美玉市は「ゼロカーボンシティ」「クールチョイス」を宣言しています



○1年間に指定ごみ袋は約250万枚販売され、この約9割が45L(大)サイズです

○ごみが減らない要因は、可燃ごみと指定袋のミスマッチも関係しています

(裏面をご覧ください)

可燃ごみを減らせば >>> 指定ごみ袋を購入する家計負担は減ります



プラごみ海洋汚染 地球温暖化 世界共通ゴールを目指す取組みにご参加ください

お問い合わせ 小美玉市 環境課 廃棄物対策係

茨城県小美玉市堅倉835 本庁舎1F

TEL 0299-48-1111 内線 1144、1145 mail kankyo@city.omitama.lg.jp

☎ 事業の内容やごみ処理についてご確認できます



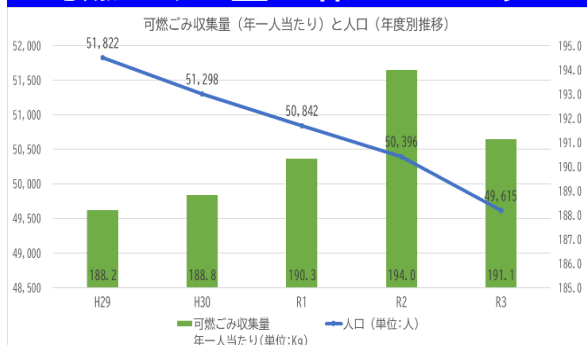
# アンケート募集「あなたのご意見」をお待ちしています

以下の場所でアンケート回収ボックスを設置しています



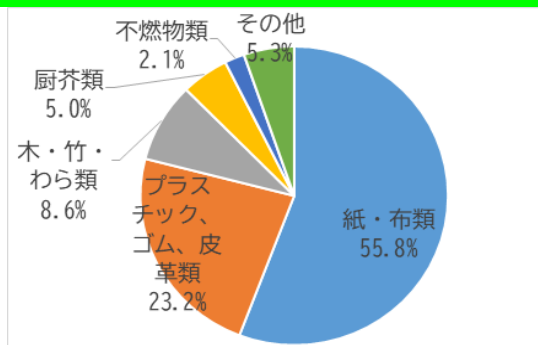
- ・本庁・各支所
- ・ヨークベニマル羽鳥東店、セイミヤ小美玉店、フードスクエアカスミ小川店、エコス小川店、セイミヤアスタ玉里店

## 可燃ごみの量は増えています



- 家庭から排出する可燃ごみの量は、特に一人当たりでは増加しています
- 新型コロナウイルス感染症により、生活に様々な変化をもたらし、家庭から出るごみにも大きな影響が出ています

## ごみ分別リサイクルは不十分



- 可燃ごみの中には、リサイクルできる古紙などが半分以上含まれています
- ペットボトルやプラスチック製品も多く含まれており、集積所から回収するごみのリサイクル率は10%ほどしかありません

## FAQ（よくあるご質問）

## 本事業に関する主なご質問など

- Q. 配布されたごみ袋は有料ですか  
⇒無料です。ごみ減量のため有効に活用ください。訪問請求などで金銭を要求することは一切ありません
- Q. 市指定のごみ袋はなぜ値段が高いのですか  
⇒ごみを減らすため、法令に基づき、ごみ袋を有料化しているためです
- Q. ごみ袋の有料化とは何ですか  
⇒ごみ袋の作成や販売などの原価に上乗せした金額で販売することです
- Q. 有料化によるごみ袋収入の活用は  
⇒市のごみ処理予算の財源として活用します
- Q. 年間のごみ処理予算はどのくらいですか  
⇒運営に年間3億円を要しています。近年は施設整備に約30億円を負担しています
- Q. 他の市町村とごみ袋の値段が違うのは  
⇒家庭から出るごみ処理の計画は市町村ごとに判断しているためです

- Q. 隣の市と同じ価格になりませんか  
⇒財政や予算配分など各市町村の事情や手続きにより判断しています
- Q. ごみ袋を安くしてください  
⇒法律や国のガイドラインでは、更なる有料化を推進することが求められています
- Q. ごみ有料化の昨今の政策裏付けは何ですか  
⇒地球温暖化対策推進法の改正において、2050年カーボンニュートラル実現が明記され、一般廃棄物処理の有料化を通じて、国民の行動変容を促すことが期待されています。また、プラ資源循環促進法により、レジ袋が完全有料化され、プラスチック製品の排出抑制が求められています
- Q. 30Lや20Lサイズのごみ袋を購入したいお店で販売していない  
⇒指定袋の取扱は認定制です。各店舗には全サイズの取扱い協力をお願いしています  
⇒ウェブサイトにご購入状況を掲載しています

\*ご不明な点については、直接、環境課までお問い合わせください  
\*ウェブサイトからも参考情報をお知らせしています。ご参考ください